

2004/11/28

## 花見川西岸を歩く

千葉市の遺跡を歩く会

### 1. <sup>ながさく</sup>長作城山貝塚（縄文早期）

- 花見川水系・長作支谷北奥部の城山舌状台地にある貝塚。
- ハイ貝が主。他にカキ、オキシジミ、ハマグリ、カガミ貝が含まれる。
- 貝層は薄い。
- 1960年早稲田大学考古研究室調査時は石器1個発掘。用途不明。軽石1個発掘。
- 炉穴が発掘された。炉穴は戸外で調理を行うためのカマド。《図1参照》
- ハイ貝は現在有明海に生息。城山貝塚の人達は温暖な気候の中、毎日バーベキューをしていた。

### ~~1-2.~~ 2. 清水前貝塚（縄文早期）

- 長作城山貝塚の西の台地上にある。
- 貝塚は4～9㎡。

書式変更：箇条書きと段落番号

### ~~1-3.~~ 3. <sup>みもみ</sup>実籾3丁目貝塚（縄文前期、中期、後期） 《図2参照》

- 旧浜田川支流に臨む標高約22mの台地にある。
- 貝がまばらに分布する70m×70mの馬蹄形貝塚。貝層の深さ50cm程度。

書式変更：箇条書きと段落番号

### ~~1-4.~~ 4. 長作築地貝塚（縄文後期） 《図3参照》

- 花見川河口から約3.5kmに位置する支谷に面する台地上にある貝塚。標高22m前後。
- 貝層部140m×110mの馬蹄形。
- 打製石器、たたき石出土。
- 魚類骨：サメ、イワシ、アジ、スズキ、クロダイ、マダイ、コチなど。
- 鳥獣類骨：カモ、キジ、イノシシ、シカ、三ホンザル。
- 貝類：ハマグリ、オキアサリ、キサゴ、オキシジミ、サルボウ。

書式変更：箇条書きと段落番号

#### 参考文献

- ① 千葉市史 p 81～82、p 111～113
- ② 貝塚研究 Vol.4、p 17～37

以 上